

業務改善の実施状況報告

組 織 名	関東森林管理局 利根沼田森林管理署	連 絡 先	0278-24-5535
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、民有林の森林整備等の指導、治山事業の実施等		

1 職員の基本的な心構え・行動について	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 <p>来客者及び地域から信頼され親しまれる森林管理署を目指し、来客者へは、笑顔で親切・丁寧な対応に心がけ、電話は3コール以内に受け、的確に内容の把握と取り次ぎを行い、不在の場合にはメモをとって担当者へ正確に伝えるようにしている。</p> <p>4月に、来客者・電話の基本応接の定着を図るため、再度接偶マニュアルに基づき講習会を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策 <p>一定の成果は見られるものの、今後更なる応接ができるよう、繰り返し接偶マニュアルを周知し、来客者等への親切・丁寧な対応に努める。</p> <p>また、職員が不在の場合等、電話相手に適切な対応ができるよう、各職員の予定の共有化を徹底する。</p>

2 国民視点に立った業務の遂行について	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 <p>1. 数字と文字だらけの見づらかった管内概要等の資料を、専門用語を極力減らし、写真を多く掲載し、見やすくした。</p> <p>2. 体験林業や森林教室等小中学校を対象に、森林の重要性を紹介するとともに、森林ボランティアなど一般の人が参加できる機会を多く設けている。また、説明に当たっても専門用語をできるだけ避け、分かりやすい言葉を使用するように心がけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策 <p>職員が協力しやすい平日のイベントを増やす工夫や、受け入れる職員の技術水準を高める講習会を開催するなど、参加された人々が満足していただけるだけの技術力を養う必要がある。</p>

3 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策
<p>利根沼田署は、首都圏からの交通の便がよく、森林ボランティアや体験林業の要望が多い。</p> <p>その要望に応えるためには、当日の対応及び準備に相当数の職員の協力が必要となる。</p> <p>そのために、職員の業務に負担にならないよう年間行事ごとに職員を割り振り、平準化を図るとともに協力しやすい環境作りに取り組んでいる。</p>	<p>職員が協力しやすい平日のイベントを増やす工夫や、受け入れる職員の技術水準を高める講習会を開催するなど、参加された人々が満足していただけるだけの技術力を養う必要がある。</p>

4 その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策
<p>自然休養林等、一般の人が森林に親しむ場所として設定しているが、看板やベンチ・案内標識板が腐朽して、見苦しいものも見受けられる。</p> <p>また、林道標識や国有林標識・保安林標識なども同様となっていることから、現状の把握を進めている。</p> <p>係ごとではなく、全体的な更新計画を構築する必要がある。</p>	<p>不要な看板等は早急に撤去し、必要な看板も他種類の看板を一本化するなど、経費節減を図りながら、一般の人々に不快感を与えるものを少なくし、よりよい環境作りを行うこととしたい。</p>